

# 園芸バイオテク 研究室

## 摺崎ゼミナール

《担当教員》

教授 摺崎宏

《研究室について》

花・野菜・果樹の組織培養から土壌分析・ポストハーベスト・機能性成分分析、野生植物保護まで植物バイオテクノロジーを利用した研究に取り組んでいます。

《担当科目》

園芸バイオ実習、ガーデニング概論

情報処理、園芸実験実習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ、

進路支援Ⅰ・Ⅱ、園芸研究・データサイエンス入門

\*実務家教員

《実務経験》

勤務歴：鉄鋼会社（研究開発歴11年）

内容：研究開発、土壌肥料分析・技術普及

# 野

菜・花・果樹の植物組織培養、微生物培養、野生植物の組織培養技術を用いた種の保存、抗酸化活性やアミラーゼ活性などの野菜のもつ機能性成分分析に関する研究を行っています。

### ゼミナール内容

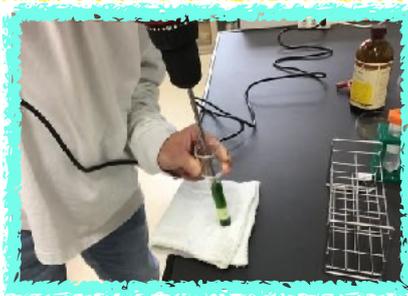
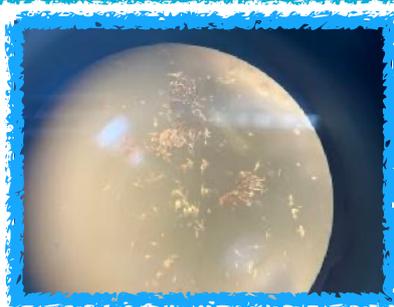
『トマトに含まれるリコピンの量とその酸化活性との相関』

『ブチジャガの栽培方法が生育と収量に及ぼす影響』

『栽植密度の違いがラッカセイの生育と品質に及ぼす影響』

『青ネギの生育と糖度に及ぼす塩類集積土の影響』

Keyword 花・野菜・果樹、植物組織培養、機能性成分、野生植物保護



【在校生より】

編入学を希望する学生が多いので専門の勉強だけではなく、英語の勉強にも力を入れています。時々、英語の特訓があります。学生の研究テーマは、植物生理学に関する研究、栽培に関する研究、ポストハーベストに関する研究、組織培養に関する研究、土壌肥料学に関する研究など様々です。テーマ探しは論文検索から始まります。ちょっと大変ですが、研究成果が得られた時の達成感は最高です！